



津奈木公民館
電話(78)5400
○右の題字は「徳富蘇峰さん」
の額を写したものです。

津奈木



ときの翔



夏まつり 大盛況

例年どおり暑い日が続いています。残暑お見舞い申し上げます。ここ、つなぎ総合グラウンドにおいて第十九回夏まつりが行なわれました。町民総おどりのため海浜は福浦地区から中山間地の倉谷、川内方面をはじめ各地から浴衣姿の御嬢さん、子どもさん、老若男女、軽快な踊りの曲にのって身ぶり手ぶりが鮮やかな手さばきでした。暑さを忘れるかのように楽しく輪になって、若いお母さんは子どもさんに手をとって教えておられ、微笑ましい風景でした。小学生、中学生も夏休みのひと時として参加してくれました。

花火大会では、遠くから眺めるのが普通ですが自分の真上に上がる花火は、迫力満点。夏まつりの締め括りはお楽しみ抽選会で楽しませてくれました。来年の夏まつりへの参加をお待ちします。

一言

五十年暮らした兵庫県から津奈木に移住して間もない頃、初野の押ボタン式信号で止まった車の前を、小学校三年生位の女の子三人が揃いの黄色の帽子とランドセルをゆらして小走りに渡った。その直後、私は、美しい光景を目にして思わず「ホー」と、ため息をついた。道を渡り切った三人は、揃って両手を膝まで下ろして、信号待ちの車に深々と頭を下げたのである。この子供達の学校、家庭の、すばらしさを、かい間見た思いがした。

少々、気の荒いドライバーでもあの姿を見れば、少なくとも、その日、一日位は人に優しい運転をしたかったと思うだろう。

津奈木でも、中学生のさわやかな挨拶をよく耳にする。歩いて居ても、知らない方からの会釈を戴く。つい最近、NHKの番組で「安全運転出来る人？」として最たる性格は、人に挨拶が出来る人であった。津奈木はそれが出来る町である。

宮崎兼雄(内野)

子ども美術館(15)

「風景画」

津奈木中一年 諫山あかり

中学校へ入学して、初めて取り組んだ風景画です。自分の住んでいる町を、新鮮な気持ちで描いた、気持ちの良い作品です。



郷土を知ろう

再び野首城

倉谷から旧道を野首まで辿って来た。

野首の山尻一帯の赤土は雨に弱い。濁流が山を削ることをホガすという。水の勢いを加えるとウツボガすとなる。即ち一本木という地名になった。

浦田和則氏宅の裏手に一本木神社があった。明治十

「祈健闘県民体育祭」

郡代表として

第五十七回(九月十四・五日)熊本県民体育祭が、鹿本郡・山鹿市を主催地にして開催されます。本町からも郡代表として単独チームで出場します。

バスケットボール(男子)ソフトボール(男子)

ゲートボール(女子)

馬術・相撲の五チームが町単独メンバーで出場します。その他、陸上、野球、水泳等々、選手七十名、本部役員四名、総勢七十四名参加します。好成績を期待するとともに、個人の普段の努力に感謝したいと思います。

新刊書紹介

イブーとにじの森／だめだめネコはこま／つたゾウ／フレディ2／スペースシャトル／ぶんどり大作戦／高橋尚子／中村俊輔／イチロー／井上康生／佐々木主浩／図鑑NEO動物・恐竜・植物・昆虫／自由

平成14年度の人権擁護活動の啓発テーマを「新世紀にひろげよう 思いやりの心」、サブテーマを「守ろう、子ども・女性・障害者・高齢者の人権を」



一年十一月「神祠仏堂合併跡地調」によると、「一本木神社、沖津彦神、津奈木一本木一〇九二番、諏訪宮に合併」とある。沖津彦と比売命二神は竈の神で、一本木村の氏神様であった。氏神は遠い祖先の墓が神社として祀られるようになることが多い。名木一本の木があったことから地名となったのではなく、地形地名であった。

付近に城にまつわる地名の多いことわかる。キドン下、ジュウダン、ホンのウチ、カタシゴウ、ニシゴウ、圧巻はカコイである。

梶は野首城を守る武家屋敷を言う。今は蜜柑が植えられ、古い井戸跡もある。西を眺めれば、重盤岩の舞鶴城が目の前である。二つの城を結ぶ間道ヌスドミチも城地名である。

(岡松庄一郎)

投稿募集

この度、公民館報の内容充実と広く町民の御意見を聞きまして更なる館報充実の一助にさせて頂きたいと思っております。多数御投稿くださるようお願いいたします。また取り上げて貰いたいこと、エピソード等々：お待ちしております。

編集後記

「中年女性のパワー」は、凄さを通り越すと、恐怖さえ感じさせられる様です。初めての編集会議の席上、石田ミサ子女士、篠原尚子女士、沢井静代女士(47)らの熱弁ぶりに圧倒されました。男性群はたじろじで、今後どうなるものかと心配したくらいです。

女性が元氣なのは、世の中が平和な証拠。慣れてくると、思いやりが深く、心温かい女性群でしたので、何とか、一安心です。

故郷津奈木に住まれる皆さん方の「身近な情報紙」を目指すつもりですから、是非、皆さんからの女性に勝てる「パワー」と御意見で、応援して下さい。(S・T)

赤崎小「キッズヘルパー」発足 任命式及び対面式開催

夏休みに入った七月二十五日(木)に、赤崎小学校において「キッズヘルパー」(三年生以上)が発足した。今、赤崎校区では老人クラブにより、一人暮らしや病弱な老人を訪問しヘルパー活動が行われている。このシルバーヘルパーの方々が、学校週五日制により土曜、日曜が休みとなった今、地域での子供達の受け皿の一つとして、キッズヘルパーとともに月の第一土曜



授与式

日にボランティア活動を行っていたことになった。この活動を通し、郷土を愛する子、思いやりのある子に育ってもらいたいものである。

研修に参加して

津奈木校区婦人会

坂本 逸子

七月十五日、津奈木町連合婦人会四十名は、最初の目的の吉野ヶ里遺跡へ到着し、弥生時代の人達の生活の知恵というのか、すばらしい考えをもっておられたのだと頭が下がる思いでした。数ヶ所の住居の中にはいつてみると、ひんやりと涼しくて気持ち良かった。久留米餅の手織り実演はこれも初めて見ました。一本一本を丁寧に通してい

って織られていくのですね。後で気付いたのですが、あのすばらしい柄は、織糸に組み込まれているのではと一人で解釈したのですが、皆さん、おみやげにかすりのモンペ等、買われていました。石橋美術館もすばしかったです。最後の目的地、慈母大観音像も見事でした。そばに行ってみて、大きい事、高さが六十メートルもあるとのこと、とてもやさしいお顔をされていました。研修に参加させて頂き、



「吉野ヶ里遺跡」にて

水俣・芦北地方童話発表会 津奈木町代表村上史織さん県大会出場



上村一輝 津小一年
村上史織 津小四年
鬼塚文佳 平国小六年

水俣市公民館において三名の代表は堂々と素晴らしい内容で発表してくれました。「見ても見ぬふり」「注文の多い料理店」「さつちんの魔法の手」村上史織さんは郡市代表者として、県大会十月二十七日(日)甲佐町中央公民館に出席します。県大会出場は津奈木町から七年ぶりになります。

兄妹揃って全国大会出場 空手個人組手の部

第二十八回全日本空手道連盟剛柔会・全国空手道選手権大会に、濱田幸平君、亜津美さん(津中三年と一年)兄妹揃って熊本県代表として出場しました。期日、八月三・四日(佐世保市体育文化館)



読書感想文



津奈木中二年 馬渡 亜弥



津奈木中二年 濱田 愛

海恋し
潮の遠鳴りかぞへては
少女となりし父母の家
与謝野晶子

私はこの短歌を聞いて白鳥の孤独さが感じられた。青い空の下、青い海の上で、たった一人で飛んでいるあの白鳥は何を考えているんだらう。そしてなぜ一人なのか。そんな様子が、空の青にも海の青にも染まりきれていないように私も思う。そんな私が私に、一人の孤独さや哀しさを感じさせた。



短歌

本郷武雄選

肥後狂句

つなき短歌会

高き声今日も聞きつつなごみいで
朝光の中庭の草ひく
西 滋子

西 滋子

じりじりと夏日うつつ坂道を
草はいくく汗したたらせ
福田八重子

コンテナに野菜種子とき水やりが
日課となるを歩みている
沢田しず子

福田八重子

三味線に負けじと歌う湯の宿に
浴衣姿の姿をひきしめて
西川 ムキ

西川 ムキ

考父には告げ得ぬままに弟を
とむらいし悔み亡き今も
寺本ツルヲ

寺本ツルヲ

ふたたびの縁に訪いし相良寺の
境内に咲くあいらとびかずら
野田 渾子

野田 渾子

ここに、こんな人が・・・

ここに

山本和美さん(52)
美智子さん(46)

公民館報で昨年ご紹介した「案山子」による村づくりを目標として、古中尾活性化委員会の中心となつて活躍しておられる山本さん御夫婦を訪問しました。



つての作品ばかりですから、後はアイデア勝負とか。昨年は、子供の作品を含めて33体の案山子が「豊作」を願って立てられました。山本さんは30年近く、坂本徳次郎商店に勤務されて、奥様とは職場恋愛で御結婚の様です。子供さんのうち、二人は大学生となられ、現在ではご両親と高一の娘さんとの五人家族で生活されています。



「古中尾一番のおしどり夫婦」と評判で、お二人にその秘訣をお伺いしてみました。愚痴を言わない、包容力がある、何事にも協力的であるなどという御夫婦です。和美さんの趣味は多く、写真、新聞への投稿、山登り、子供さんとのアウトドア。美智子さんは、PTA活動を中心に十年近くビーチ・バレーボールに一生懸命で、ご家族の理解に感謝しておられました。

随筆



「あけぼの苑」在宅介護支援センター
相談員 川野 悦子

が浸透し、在宅サービスを本人の意思に基づいて提供することができるようになりましたが、一人暮らし、高齢者世帯の方々の生き方に共鳴を覚えたり心を痛めたりすることがあります。中には「家で生活をしていきたい。」と思っても、精神・身体的状況や経済的状況、家庭介護の限界を感じ

っている高齢者の方々に、笑顔や何気ない会話の中で元気をもらい逆に勇気付けられている毎日です。今後、高齢者の一人一人が介護を必要とする状態になっても自立した生活を送り、人生の最後まで人間としての尊厳を全うできることを望み、また、本人や家族が安心して在宅生活を送れるよう、支援者の一人として自分自身、更に知識を高め、高齢者のニーズに添えていきたいと思ひます。

立ちどまり
なんべん見てもよかポーズ
いらん世話
我が家こつに気配りせ
寅之助

立ちどまり
たまにや焼きたか時もある
いらん世話
うんにや要る世話焼きおると
宰相

立ちどまり
財布と切符確かめる
いらん世話
儲け話につり込まれ
達生

立ちどまり
なんど見たろかショーウィンドウ
いらん世話
自分のことは棚に上げ
神無月

立ちどまり
一気ままに暮らすけん
万葉

立ちどまり
「次回の笠」
おぼつちり
一笠一句を
津奈木町教育委員会へ